

学校関係者評価一覧

令和6年度自己点検・自己評価項目に添い、学校関係者評価委員に本校の自己点検結果について採点と講評いただきました。

その結果一覧について以下に公表いたします。なお数値化された採点の評価基準については以下の通りです。

(4 = 適切 / 3 = ほぼ適切 / 2 = やや不適切 / 1 = 不適切)

◆基準1 教育理念・目標

項目名		委員1	委員2	委員3	委員4	委員5	委員6	委員7	平均	当校
1-1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4	4	4	4	4	4	3	3.9	4
1-2	学校における職業教育の特色は何か	4	4	4	4	4	4	4	4	4
1-3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱えているか	4	3	4	4	4	4	3	3.7	4
1-4	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4	4	4	4	4	4	3	3.9	3
1-5	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	4	4	4	4	4	4	4	4
学 校 委 員 関 係 者 見 評 価	▶本校では、医療人・トレーナーとして、地域医療やスポーツ現場で期待されるニーズを理解しコミュニケーション能力の高い人材育成を目指しているため、地域包括ケアと連携しながら地域のイベントや運動部活動での教護スタッフボランティアなどの活動を行っている。									

◆基準2 学校運営

項目名		委員1	委員2	委員3	委員4	委員5	委員6	委員7	平均	当校
2-1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	4	4	4	4	4	4	4	4
2-2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	4	4	4	4	4	4	4	4
2-3	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	3	4	2	4	4	4	3.6	3
2-4	人事、給与に関する規程等は整備されているか	4	2	3	2	4	4	3	3.1	4
2-5	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	3	3	2	4	4	4	3.4	4
2-6	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	4	4	4	3	4	3	3.7	4
2-7	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	4	4	4	4	4	4	4	3
2-8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	4	3	3	4	4	4	3.7	4

学 校 委 員 関 係 者 見 評 価	▶令和4年度より看護学科以外の入学定員を減員し、学生募集活動を行っている。収容定員充足率については、令和5年度が76.4%、令和6年度は83.4%に増加している。
	▶令和5年度から外部機関の支援により組織開発活動に取り組んでおり、組織運営に関する現状把握と課題の可視化を実施している。令和6年度については、完成年度を踏まえた組織の仕組化と事例検討に取り組むとともに、ハラスメントに対する認識を深め適切な対策を講じることで、安心した職場環境の構築を目的とした教職員アンケートを実施した。
	▶専門学校は少人数で親身に学生に寄り添うという、大学とは異なる教育のあり方ができる。学生だけでなく、教職員からも一人一人の声を聴いているのは、良い取り組みだと感じる。

◆基準3 教育活動

項目名		委員1	委員2	委員3	委員4	委員5	委員6	委員7	平均	当校
3-1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	4	4	4	4	4	4	4	4
3-2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	4	4	4	4	4	4	4	4
3-3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	4	4	4	4	4	4	4	4
3-4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	4	4	4	3	4	3	3.7	4
3-5	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3	4	4	4	3	4	4	3.7	3
3-6	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	3	4	4	4	4	4	4	3.9	4
3-7	授業評価の実施・評価体制はあるか	4	3	4	3	4	4	2	3.4	4
3-8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3	3	4	3	3	4	4	3.4	4
3-9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	3	4	4	4	4	4	3.9	4
3-10	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	4	4	4	4	4	4	4	3
3-11	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	4	3	3	4	4	4	3.7	4
3-12	関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4	4	4	4	3	4	4	3.9	4
3-13	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	4	3	3	3	4	4	3.6	4
3-14	職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	4	3	3	4	4	3	3.6	3

学校関係者意見評価	▶組織開発活動を通して、外部カウンセラーによる教職員面談、管理職を対象としたマネジメントに関するアンケートを毎月実施することで、学生対応及び指導・学科運営等に関し振り返りができる機会を設けた。 ▶実習中の学生の様子を見てみると様々な課題に直面し、戸惑っている様子もうかがえるが、そうした中でも「どうにかして関わろう」とする姿勢が見えてきており、新たな気づきをもたらしていると感じる。 ▶患者さんから「先生のおかげで本当に楽になった」という一言をもらえると、この仕事をやっていて良かったという気持ちになる。そうしたことを、学生にも感じてもらえればと思う。
-----------	---

◆基準4 学修成果

項目名		委員1	委員2	委員3	委員4	委員5	委員6	委員7	平均	当校
4-1	就職率の向上が図られているか	3	3	4	4	4	4	4	3.7	4
4-2	資格取得率の向上が図られているか	3	3	4	2	4	4	4	3.4	3
4-3	退学率の低減が図られているか	3	2	3	3	3	4	3	3	3
4-4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3	4	4	3	3	4	4	3.6	3
4-5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校のエデュケーション活動の改善に活用されている	3	4	4	3	3	4	4	3.6	4

学校関係者意見評価	▶令和6年度に関する国家試験合格率（新卒）に関し、はり・きゅう学科の合格率については全国平均を上回る結果となったが、他の学科は全国平均よりも低い結果となった。本校独自の指導方法に加えてグループ他校の指導方法も参考にし、指導体制の強化を図ることで合格率100%を目指していきたい。 ▶退学率については看護学科10.2%、理学療法学科4.4%、柔道整復学科9.7%、はり・きゅう学科12.5%、アスレティックトレーナー学科3.2%であった。社会人学生についてはライフスタイル変更による退学が多く、サポート窓口を設置し相談ができる個別対応、定期面談実施による早期対応が必要である。
-----------	---

◆基準 5 学生支援

項目名		委員1	委員2	委員3	委員4	委員5	委員6	委員7	平均	当校
5-1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3	4	4	4	4	4	4	3.9	4
5-2	学生相談に関する体制は整備されているか	3	4	4	4	4	4	4	3.9	4
5-3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3	4	3	4	4	4	3	3.6	3
5-4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3	4	3	4	4	4	4	3.7	4
5-5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	3	4	3	3	3	4	3	3.3	4
5-6	学生の生活環境への支援は行われているか	3	4	3	3	3	4	4	3.4	3
5-7	保護者と適切に連携しているか	3	4	4	4	4	4	4	3.9	3
5-8	卒業生への支援体制はあるか	3	4	3	2	4	4	4	3.4	4
5-9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3	3	3	3	4	4	3	3.3	3
5-10	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3	3	3	3	4	4	3	3.3	2

学校関係者 意見評価	▶令和6年度は、看護学科34名、理学療法学科16名、柔道整復学科15名、はり・きゅう学科25名、アスレティックトレーナー学科15名の計105名の卒業生の内、看護学科33名（就職希望者34名）、理学療法学科16名（就職希望者16名）、柔道整復学科11名（就職希望者11名）、はり・きゅう学科15名（就職希望者16名）、アスレティックトレーナー学科3名（就職希望者3名）の計78名（就職希望者80名）が関連分野に就職している（就職率97.5%）。
	▶在校生を対象としたハラスメントに関するアンケートを実施するなど、ハラスメント防止に向けた活動を強化した。
	▶令和4年4月の入学生より3年間は、国からの就学支援金が受給できない状況であったが、令和6年度中に申請を実施、令和7年度より大学等における修学支援に関する法律による就学支援の対象機関となった。
	▶県立高校でも2,000名規模の定員割れが起きており、そうしたなかで県立高校から進学した学生については、経済的な問題を抱えている方も多いのではないかと感じる。どの学生にとっても、安心して学び続けることができる環境が整うことが必要。

◆基準 6 教育環境

項目名		委員1	委員2	委員3	委員4	委員5	委員6	委員7	平均	当校
6-1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	4	3	4	4	4	4	3.9	3
6-2	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	4	3	3	4	4	3	3.6	3
6-3	防災に対する体制は整備されているか	3	4	3	3	4	4	4	3.6	3

学校関係者 意見評価	▶令和6年度については、本校E館7階空調設備の更新工事を実施した。
	▶令和6年12月に学校法人河合塾学園が所有していた校舎を購入し、「名古屋平成看護医療専門学校 千種校舎」とした。今後、内外装・設備工事を実施し校舎として使用可能な状態まで整備する予定。
	▶専門学校のリハビリテーション養成校のなかでは、ハード面は充実していると感じる。学校に入ってから最初の第一印象がとても重要であり、「綺麗で明るい」という印象が最も好感を持たれると思う。

◆基準7 学生の受入れ募集

項目名		委員1	委員2	委員3	委員4	委員5	委員6	委員7	平均	当校
7-1	学生募集活動は、適正に行われているか	3	4	4	4	4	4	4	3.9	3
7-2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3	4	4	4	4	4	4	3.9	3
7-3	学納金は妥当なものとなっているか	3	4	4	3	4	4	4	3.7	4

学校 委員 関係 者 見 評 価	▶令和6年度は、看護学科に関する学生募集が大幅にマイナスだったこともあり、看護学科については入学定員に対し80%と令和5年度と比べ充足率25%減、入学者10名減の結果となった。
	▶全体として来校者が減少、教員の協力と学生スタッフの育成により、理学療法学科・柔道整復学科・アスレティックトレーナー学科では出願率が上昇した。
	▶はり・きゅう学科では、年明けからの社会人受験生が準備不足により辞退となることが多かった。今後は、そのための対策として奨学金説明会や、学費に特化した説明会を実施する。

◆基準8 財務

項目名		委員1	委員2	委員3	委員4	委員5	委員6	委員7	平均	当校
8-1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	4	4	4	4	4	4	4	3
8-2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	4	4	4	4	4	4	4	4
8-3	財務について会計監査が適正に行われているか	4	4	4	4	4	4	4	4	4
8-4	財務情報公開の体制整備はできているか	4	4	4	4	4	4	3	3.9	4

学校 委員 関係 者 見 評 価	▶在校生増加にともない、令和5年4月の充足率が76.4%に対して令和6年4月の充足率は83.4%に上昇し、事業収支計算書における経常収支差額は、令和5年度同様、令和6年度に関してもプラスとなった。計画的な経営（運営）戦略の推進（計画と実行のチェック）に向けた学科別予算の作成を実行した。
	▶より強固な財政基盤構築に向けて、法人本部経費負担後の収支がプラスになるよう、今後の中期計画アクションプランにおいて検討していく。

◆基準 9 法令等の順守

項目名		委員1	委員2	委員3	委員4	委員5	委員6	委員7	平均	当校
9-1	法令、専修学校設置基準等の順守と適正な運営がなされているか	3	4	4	4	4	4	4	3.9	4
9-2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3	4	4	4	4	4	4	3.9	4
9-3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3	4	4	4	4	4	4	3.9	4
9-4	自己評価結果を公開しているか	3	4	4	3	4	4	4	3.7	4

学校 委員 関係 者 見 評 価	▶ここ数年で実施された「愛知県（保健医療局医務部、私学振興室）実地調査」「法人本部による学内監査、監査法人往査」による指摘事項に関する対応を実施。
------------------------------------	--

◆基準 10 社会貢献・地域貢献

項目名		委員1	委員2	委員3	委員4	委員5	委員6	委員7	平均	当校
10-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3	2	3	4	4	4	4	3.4	3
10-2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3	4	4	4	3	4	3	3.6	4
10-3	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3	2	3	4	4	4	3	3.3	3

学校 委員 関係 者 見 評 価	▶トライデントスポーツ医療看護専門学校の頃から交流している各スポーツ大会や団体等へのサポート活動に加え、令和元年より学校周辺地域で毎年開催されている「今池まつり」への参画や、地域包括センターの指導による「がんきカフェ（認知症カフェ）」を開設するなど実施。 ▶アスレティックトレーナー学科では、各種競技への学生トレーナー派遣、マラソンフェスティバルナゴヤ・愛知、車いすテニス大会等へのボランティアトレーナーの派遣を実施。
------------------------------------	---

令和7年6月18日

学校法人 平成医療学園
名古屋平成看護医療専門学校
校長 高木 保子